

# 平成30年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申請者	団体名		摂津市商工会
	代表者職・氏名		会長 武友 良雄
	所在地		〒566-0021 大阪府摂津市南千里丘 4番35号3階
	担当者	職・氏名	事務局長 阪田 雅克
		連絡先	電話番号（直通）： 06-6318-2800
Fax： 06-6318-2555			
		E-mail： <a href="mailto:info@settsu-sci.jp">info@settsu-sci.jp</a>	
①設立年月日		昭和37年6月19日	
②職員数 (うち経営指導員数)		9名 (9名)	
③所管地域		摂津市	
④管内事業所数		4,249 (経済センサス)	
⑤管内小規模事業者数		2,987	
⑥会員数(組織率)		1,957 (46.05%)	
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと			
□主な事業概要(定款記載事項等)			
<p>① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③ 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤ 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑨ 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>⑩ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑪ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。</p> <p>⑫ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>⑬ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑭ 輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>⑮ 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

## 摂津市商工会

## (1) 事業の目標

- ◆経営相談支援事業については、小規模事業者の事業意欲の向上と意識改革を促し、消費者ニーズや地域に根差した商品・サービス提供による持続的発展を目標に事業計画策定など事業者と一緒に支援していくワンストップサービスによる経営力向上のための支援を行う。
- ◆専門相談支援事業については、専門的で高度な問題の解決にむけた専門家による予約制の個別相談を実施し、企業経営の安定化を図るとともに、更なる活用に向けてのPR活動と利用促進に努める。
- ◆地域活性化事業においては、企業の経営の改善と安定に努めることを目的に、事業者間の交流・連携の促進、人材育成などニーズが高いと思われるものや、時代にマッチした情報提供と支援を行うことにより、経営の安定と発展に向けてのチャンスを提供するとともに、課題解決への具体的な取り組みができるよう支援する。また、事業を通じてビジネスチャンスを提供し企業の成長を促す。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- ◆経営相談支援事業では、自社の強み・弱みが客観的に捉えられない事業者も見られる中で、事業計画策定などを通じて事業者が抱える課題を明確にするとともに、人材・労働力の確保・育成や資金力の向上、販売力強化・市場開拓などの課題解決に取り組んだ。また、高度な支援が必要となる相談については、専門家と連携して支援した。
- ◆専門相談支援事業では、企業が抱える専門的な課題の解決に向けて専門家を活用できるよう、専門相談のPRに努めるとともに、原則として毎月1回の相談日を設けた。また、法律相談など急を要する相談内容がある場合は電話相談などで対応をした。
- ◆地域活性化事業については、摂津市で製造された最終製品を認定して販路開拓を支援する摂津ブランド事業をはじめ、製造業を中心とした高い技術力をもった事業者に対して、事業者間交流・連携を促進するとともに、求人難、後継者難に取り組む人材育成や地域就労を支援する事業を実施した。小売・飲食業については、摂津まちゼミなど個店の魅力を情報発信することで、魅力的な店舗を増やしていくとともに、創業者の新規参入を促進する事業を実施した。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

- ◆経営相談支援事業では、小規模事業者持続化補助金は14件の申請で10件という高い確率で採択され、事業計画作成から資金調達や販路開拓まで多岐にわたる支援をすることで、事業者の課題解決に貢献できた。
- ◆専門相談支援事業では、専門家の活用により専門的で高度な問題の解決に取り組み、企業の健全な経営に寄与できた。
- ◆地域活性化事業ではクラウドファンディングや労働法改正など事業者の事業継続・変革に必要な情報を提供することで、新たな事業展開に取り組むきっかけを提供するとともに、事業者間交流・連携事業により新たな価値の発見やビジネスチャンスの提供や就労支援交流やマッチング事業により求人難に貢献することができた。昨年よりスタートした摂津ブランド事業では自社の強みを明確にするとともに、事業所と共に販路開拓に取り組んだ。またスクラッチカードなどの販売促進事業を実施することで、事業者の売上拡大と地域商業の活性化に貢献した。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

- ◆経営相談支援事業では、高齢化による事業承継や事業廃止など課題解決が難しい案件が多くなってきている。相続や小規模なM&Aなど利害関係者との調整も非常に手間がかかることもさながら、事業者の意識向上を支援する必要がある。また、全体的な支援内容では支援機関・専門家へのつなぎ支援が一番多く、専門家と連携しながら高度で複雑な相談内容に対応してきたが、人材育成やIT化、5S推進などより一歩進んだ支援も今後増加させていきたい。
- ◆専門相談事業においては、法律相談が全体の約5割を占めていて、事業者間トラブルなど緊急的な相談内容が非常に多く、複数回の相談が見られたことから今後の無料相談の回数の見直しも必要となってくる可能性がある。
- ◆地域活性化事業のセミナー関係においては、提供した情報が今後どのような形で活用されるか今後のフォローが課題である。イベント関係については、交流会や販売促進事業により新規の連携先や顧客を獲得のきっかけを提供することができたが、その事業所の魅力などリピーター獲得のための情報発信などの持続的なフォローが課題である。求人・求職マッチング事業については、障がい者の支援学校が市内に2校あり成果も上がっているが、一般求人を含めて引き続き人材不足が続いている。

## (5) 来年度への取り組み

- ◆経営相談支援事業では、事業者の課題解決に向けて取り組むとともに、潜在的な課題の掘り起こしと支援の拡充に努めることで、自ら成長するために事業意欲を持って、市場や顧客ニーズなど新たな需要にきめ細かく対応し、地域に根差した商品・サービスや付加価値の高い技術力の提供、人材や技術力を承継できる小規模事業者の増加を目指す。
- ◆専門相談支援事業では、法務・労務などをはじめ、全ての経営項目で問題を抱えている事業者がもっとあると考えられるので、周知の徹底と活用促進に努め、事業者のニーズに合ったきめ細やかな支援を行うことに努めるとともに、経営相談事業への拡充を図る。
- ◆地域活性化事業では、市行政等と連携し、事業所ニーズの高い情報をタイムリーに提供するとともにビジネスチャンスの提供等を行い、企業経営の安定と発展、地域活性化を目指すとともに、人材不足など、従来の取組だけでなく、地域の人材を地域で雇用できるような仕組みづくりにも積極的に取り組んでいきたい。

摂津市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

市内小規模事業者の抱える課題の解決に向けての提案に取り組むとともに、各種支援機関との連携を図り、事業所が抱える経営課題の中でも、高度・複雑な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りにより小規模事業者の抱える課題を抽出し、専門家のアドバイスによる問題の迅速な解決と経営の改善に役立てた。

また問題解決のためのノウハウの提供や、専門家、支援機関への紹介を行うなど、ワンストップ的な機能を果たすことによって、企業の経営の安定・発展を目指すとともに、経営革新や事業承継、創業、新事業展開など、高度で専門的な経営課題への対応を迅速に支援することにより、商工会の信頼を高めることができた。

【代表事例】【A企業（英会話教室）】 「SWOT分析による事業計画作成支援」

事業主は平成25年より英会話教室を運営しており、経営を安定させるために生徒、売上を増やしていきたいがどうすれば良いのかとの相談を受けました。そこで、SWOT分析を行い、それに基づいた販促を行い5年計画で増やしていくことにしました。「強み」としては独立系のため低価格でサービスを提供できる、英検対策に力を入れており合格率は85%を記録している、英語圏の子どもたちが使っている「Phonics（フォニックス）」「CLIL（クリル）」学習を取り入れている等「6個の強み」を整理しました。また「機会」では、学習指導要領の改正により英語教育の低年齢化、摂津市は独自に1年生から英語授業を取り組んでいるなど今後の市場拡大は十分見込めました。そうした分析から現在約500万円売り上げを5年間で2倍まで目指す経営計画書を作成しました。手法としては現在の生徒を自宅別に地図に分布させると半径2km以内に89人が住んでおり、地元密着を掲げて半径2km以内の小学生約1500人、中学生約750人にダイレクトに届く販促活動を検討しました。補助金を使ってプロジェクトを取り入れ、洋画を使ったレッスンや英検対策講座のグレードアップを行い競合他社との差別化を行い、それらをチラシやHPで宣伝を行いました。さらに新しい販促手段として教室のロゴ、名前、キャッチコピーが入った消しゴムを1000個作り半径2km以内の小学校前や、地域のイベントでチラシと共に配布しました。こうした取り組みを約1年かけて共に取り組んだ結果、HPアクセス数は年15件が88件に、Facebookからの問い合わせが月10件が月100件以上、Google Mapからのアクセス数が年10件が100件以上と反響は非常に大きく、英検対策の受講者は昨年度15名が32名と2倍以上になりました。売上についても29年度は約500万円が30年度は750万円と1.5倍となりました。教室も第2教室を阪急摂津市駅前にOPENさせ更なる生徒獲得、売上UPを目指す姿勢です。摂津市商工会としても、金融、労務、税務を中心に伴走型で今後も支援を継続していきます。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	320	339	105.9%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	160	203	126.9%	5
金融支援（紹介型）	支援数	30	26	86.7%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	30	31	103.3%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	3
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		
記帳支援	事業所	10	6	60.0%	4
労務支援	支援数	45	45	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		
販路開拓支援	支援数	47	42	89.4%	5
事業計画作成支援	支援数	20	18	90.0%	5
創業支援	事業所	11	15	136.4%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0		—
コスト削減計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	3
財務分析支援	事業所	0	0		
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	1	1	100.0%	4
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	2	2	100.0%	4
結果報告	事業所	320	339	105.9%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所が抱えるさまざまな法律・税務・労務・経営の問題の中でも、高度かつ専門的な課題に対応するために専門家を活用し、定期的な相談だけでなく経営者の要望に随時対応できるような体制作りをし、専門家の具体的なアドバイスにより事業所がかかえる高度な課題を迅速に解決し、企業の経営の改善と経営基盤の強化に役立てることができた。

また、専門的分野の支援から事業所の抱える問題が軽減でき、内容としては満足のいく成果が得られている。例年の傾向としては、法務相談が上位を占めている。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談支援	継続	回数	9	10	111.1%	5
労務相談支援	継続	回数	6	7	116.7%	5
経営相談支援	継続	回数	5	5	100.0%	5
その他相談支援	継続	回数	2	0	0.0%	—

摂津市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

◆吹田商工会議所、高槻商工会議所、茨木商工会議所、島本町商工会との5か所の広域で実施した「承継・創業経営者交流事業」では事業を立ち上げる、事業を継続していく為に必要である自社のビジネスを変化・進化し続ける力をイノベーションツール「ビジネスモデルキャンパス」を活用して身につけることで新たなビジネスネットワークを構築することを目的に、関西dラボ代表理事の岡田明穂氏を招き、3回（第2回は大阪北部地震の為中止）実施し、30社の参加で研修内容も好評を得た。

◆障がい者求人・求職マッチングフェアは、社会状況に応え、摂津市単独での障がい者就職フェアを実施し、参加企業11社、面接参加者92名と目標数値をクリアし、採用決定者も7名という実績で、障がい者の求人・求職に貢献できた。

◆商業者の支援においては、直接または団体を通じての情報提供等の支援を行うとともに、販売促進イベントとして小規模店舗参加型スクラッチカード事業を208店舗の参加で実施した。また、摂津まちゼミには21店の参加で、夏は子ども向け、冬は一般向けで開催し、参加者のリピーター率も高く、地域密着で営業展開している小規模事業者には非常に効果の高い販路開拓事業となっている。

◆摂津ブランドでは摂津で製造された最終製品を「摂津優品（せつつすぐれもん）」とし新規に2商品を認定し合計8商品となり、大阪勧業展や摂津市ビジネスマッチング交流会等で来場者に対してPRするとともに販路開拓を事業者と共に実施した。

■地域活性化事業全般については、経営力の乏しい中小零細事業所等の従業員や事業主が本セミナー等を受講することにより、営業力を強化したり経営のあり方を見直したり販売力を高めて売上の増加を目指したりするとともに、各種事業・セミナーを通じ、具体例や情報を理解することにより、課題の抽出や問題の解決、経営力の強化等に役立てた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	摂津市ビジネスマッチング交流会	75	67	89.3%	81.8	名刺交換をすることができた事業所数	25	36	144.0%	5
	摂津市地域限定ミックスドリンク	18	12	66.7%	78.3	新規顧客来店or原価率低減につながった	50%	38%	76.0%	5
○	摂津市地域就労支援交流会	5	1.5	30.0%	90	面接をしてもよいと思う人材が見つかった	50%	50%	100.0%	2
						就労希望者交流会参加人数	10	7	70.0%	
	摂津ブランド事業（ハンズオン）	5	2	40.0%	75	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所	3	2	66.7%	5
	摂津ブランド事業（販促）	6	6	100.0%	75	認定製品をPRできた事業所	4	5	125.0%	
	小規模店舗参加型スクラッチカード事業	200	208	104.0%	63	売上または集客が増した事業所の割合	60%	24%	40.0%	5
	摂津まちゼミ（交流会）	18	10	55.6%	90	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70%	100%	142.9%	5
	摂津まちゼミ（参加事業所）	30	21	70.0%	77	販売促進に対する意識向上ができた事業所	70%	91%	130.0%	
	製造業経営者支援事業	15	15	100.0%	85	取り引き、連携などが行われた事業所	60%	80%	133.3%	4
○	障がい者 求人・求職マッチング	10	11	110.0%	95	面接者から採用に至った人数の割合	5%	8%	160.0%	5
						障がい者就職フェアで企業との面接を行った参加企業のうち採用に至った企業数	90	92	102.2%	
○	摂津市お仕事フェア	10	8	80.0%	80	参加企業のうち採用に至った企業数	3	3	100.0%	5
						来場者	30	46	153.3%	
	マジック&ミュージック	20	15	75.0%	87	全来店客内の新規来店客割合	30%	25%	83.3%	4
	魅力ある職場づくり対策交流会	20	19	95.0%	88.4	健康管理の重要性理解度	70%	91.5%	130.7%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	承継・創業経営者交流研修	56	30	53.6%	91.9	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度	80%	100%	125.0%	5
○	クラウドファンディング活用セミナー	30	31.5	105.0%	92.3	参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数	10	29	290.0%	5
○	人財力（人材育成）セミナー	20	22	110.0%	95	セミナーの内容を自社で役立てようとする事業所	70%	95%	135.7%	5
○	労働法改正対応セミナー	45	55.5	123.3%	87.7	自社の労務管理の見直しに役立つと思った事業所の割合	70%	85%	121.4%	5
○	人材掘り起こし採用セミナー	25	6	24.0%	75	採用するための知識が深まった事業所の割合	70%	87.5%	125.0%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

摂津市商工会

事業名		摂津市ビジネスマッチング交流会						
想定する実施期間		26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市は、市域の面積の半分以上が工業や準工業地域で、現在、4,000社を上回る事業所が市内で活動する産業都市であるが、従業員が9人未満の事業所が全体の73%を占めており、事業所間の連携を自発的にとっていくのは難しい。そこで、地域総合経済団体である商工会が行政・金融機関等と連携して、ビジネスマッチング交流会を開催することにより、新たな販路開拓及び事業所間の連携、相互の経営力の向上等を図ることを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内の事業所(全業種)						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■開催日時：平成31年 2月6日(水) 16:00～19:00 ■会場：摂津市立コミュニティプラザ3階コンベンションホール ■講演企業：日東電工(株)顧問 藤村 保夫 氏 ノースヒルズ溶接工業(株)代表取締役 北坂 規朗 氏 ■交流会 ■参加者数：62社 74名 市内企業の連携・販路開拓につながる機会として、摂津市ビジネスマッチングフェアを摂津市・摂津市商工会・北おおさか信用金庫・大阪彩都総合研究所で開催した。第I部では、新たな価値創造活動を目指して独自の共創活動を進める企業に学ぶ「次の100年に備える技術経営」や世界一の溶接屋を目指して補助金活用とM&Aを通じて成長を続ける企業の「次世代の技術を生み出す事業展開」についての講演会。第II部では、自由に名刺交換できる交流会は参加者・講演者も参加し、情報収集や新たな取引につながるきっかけづくりになった。						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	摂津市、北おおさか信用金庫、(株)大阪彩都総合研究所、摂津市商工会の4者で、企画、参加企業募集、会場設営、当日開催と共同で実施した。	
④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数1件。							
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	75	支援企業数(実績)	67	支援実績率	89.3%	満足度	81.8
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	摂津市ビジネスマッチングフェアは5回目の開催となり、前回に比べて参加企業数はやや減少した。参加者アンケートでは、55名中13名が「満足」、34名が「ほぼ満足」、8名が「どちらとも言えない」と回答し、満足度81.8%と概ね良好であった。また参加の目的は「人脈の拡大」が32名で一番多く、次いで「業界の情報収集」が21名、「販路の開拓」と「講演に興味があった」が14名となっている。ビジネス交流会での名刺交換枚数は平均で6枚やマッチングは非常に活発で、「連携をはかれそうな事業者が見つかった」が全体の52%と当初想定していた数字よりも高かった。講演企業についての満足度も高く、2名の平均満足度は81.2%でグローバルニッチトップというベースとなる三新活動や創業からわずか4年で自社よりも規模の大きい会社をM&Aして事業拡大した話に共感した方が多かった。摂津市で唯一のビジネスマッチングフェアとして市内企業同士の交流の場を提供することで、更なる挑戦や連携のキッカケを提供できたが一番の成果である。						
	名刺交換をすることができた事業所数							
	数値目標	25社	実績数値	36社	目標達成度	144%		
成果の代表事例	今回は、連携をはかれそうな事業者が見つかった企業25社のうち、連携先が5社見つかったという企業が2社あったことが一番大きな成果となった。連携先を見つけた企業の平均が2.1社であったことを考えると、交流会で北おおさか信金の担当者を中心に積極的にマッチングを勧めた成果だと思えます。							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	次回、このようなビジネスマッチングフェアを開催しましたら、参加されますか?という問いに対して、「是非参加したい」が21社、「都合が合えば参加したい」が29社で合計100%を占め(参加企業アンケートより集計)、引き続き摂津市内企業同士のマッチングに対するニーズが高いことが伺える。参加者の15%が講演を聞く目的で参加しているので、インベーションやM&Aやなど小規模事業者でも取り組めるニーズの高いテーマを取り上げて、参加者を増やしより交流や取引が活発になるように改善に取り組むとともに、事業者がその後取り組む際のフォローもしていきたいと思えます。						

摂津市商工会

事業名		摂津市地域限定ミックスドリンク（摂津モクテル）								
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 <small>（現状や課題をどのような状態にしたいか）</small>	摂津市は狭い市域に鉄道やモノレールの駅が5つもあり、交通の便は良くなっているが、市内商業店舗の知名度が低く、市内外からうまく集客することができていない。中でも人材の採用難による人件費、食材、輸送費の高騰など市内飲食店を取り巻く環境はますます悪化している。また、消費者、特に若者や女性の外食に対する意識やニーズが変化する中で、他店との差別化や利益率向上が課題となっています。そこで、大手飲料会社と連携して、摂津地域限定ミックスドリンク（摂津モクテル：仮称）で市内飲食店のドリンクメニュー改善による販促を提案することで、市内外の新規顧客開拓と利益率向上による市内飲食店活性化を目的とする。								
	支援する対象 <small>（業種・事業所数等）</small>	摂津市内の飲食店								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と千里丘の飲食店で構成される音千祭実行委員会と連携して実施。 平成30年7月実行委員会と打合せ 平成30年8月飲食店とモクテルメニュー開発、共通モクテルメニュー決定 平成30年9月11店舗オリジナルモクテルメニュー決定 平成30年10月8日（祝）第17回音千祭で328杯提供 平成31年1月新規取扱店舗募集 平成31年2月新規取扱店1店導入（カラオケ店） 平成31年3月次年度打合せ・モクテルメニュー、単価見直し 飲食店のドリンクメニューの改善提案をして利益向上につながるような仕組みづくりを提案した。 モクテル注文件数343件（1店あたり平均28.6杯） <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
	③市町村連携	摂津市、ことぶき商店街等と調整・協議をしながら、事業を進める。								
	④相談相乗	モクテル導入による販路開拓支援を行った。カルテ化件数1件。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	18	支援企業数(実績)	12	支援実績率	66.7%	満足度	78.3	
	目標の達成度 <small>（支援企業をどう変化させることができたか）</small>	摂津モクテルの参加店12社中3社が「満足」、6社が「ほぼ満足」、8社が「普通」と回答し、やや不満・不満はなく満足度78.3%と概ね良好な結果であった。また、今回参加した成果については、「摂津の活性化につながった」7社で一番多く、次いで「新規のお客さんに来店していただいた」「売上増加につながった」「お店のPRになった」が各4件で摂津をPRするとともにある程度各店にメリットを提供することができた。今回初めての取組みだったので、各店舗とまどいがあったようで、新しい商品の知識が得られて良かったと前向きな意見やノンアルコールより単価の高いアルコールが出てほしいという意見もあった。 新規顧客来店or原価率低減につながった								
		数値目標	50%	実績数値	38%	目標達成度	76%			
	成果の代表事例	参加企業名：A企業 モクテル名：自家製シロップ漬ドライフルーツソーダ×オレンジ、ブラッドオレンジ、ピンクグレープフルーツ、女性に人気のイタリア料理店、自家製のドライフルーツのシロップ漬をアレンジして、インスタ映えする女性が好むモクテルを提供。事業実施日では1日で200杯以上注文があった。								
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み <small>（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</small>	地元の音楽イベントである音千祭は年2回開催しており、今まで17回開催しているが、イベント当日は市内外からアーティストのファンを中心に数百名集客しているが、イベント翌日には客数が元に戻ってしまい、お客が定着しない課題を抱えていた。今回モクテルというノンアルコールカクテルを導入することで、従来単価の高いアルコールを注文するお客様メインの集客から、アルコールが飲みづらい昼間や車のお客様など新たな客層を開拓することができ、イベント後のお客様の再来店につながる取組みで課題を解決を目指した。今年初めての取組みで目立った成果は出ていないが、今後モクテルのメニューを増やして、モクテルがあるから、摂津の店を選ぶと言われるように、お店・お客様どちらからも支持されるよう取組みを続けていきたい。								

摂津市商工会

事業名		摂津市地域就労支援交流会																													
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																													
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	景気が改善される中、少子高齢化も進み中小企業における人材確保は、ますます困難な状況にある。若年無業者、障がい者、一人親家庭の親、中高年齢者など、働く意欲があり、就業を希望しているが、様々な事情で働くことに不安を持つ者に対して、従来の採用形態では、身近な地域の中小企業で働く場を確保することがなかなか難しい状況となっている。そのような中小企業における人材不足の解消を図るためには、企業側の就労希望者に対するニーズと就労希望者側の企業に対するニーズのギャップを解消し、双方歩み寄った人材を職業人として育成し、職場環境を整備し、自社の人材確保策につなげる仕組みが必要である。企業の生産性向上を図るとともに、様々な人材を受け入れて戦力化していくことで、企業の競争力アップと活性化につなげることを目的とする。																													
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域の人材確保に関心がある摂津市内全事業所の事業主および担当者。																													
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>医療事務講座</p> <p>■開催日時：平成31年1月8日(火) 14:00～15:00</p> <p>■会場：摂津市産業支援ルーム</p> <p>■参加企業：1社(2名)</p> <p>■参加者数：7名</p> <p>調剤薬局からはマネージャーに参加してもらい、調剤薬局事務就業希望者に実際の業務を具体的に説明してもらった。その後別室にて個別に面談してもらい、実際就業面接時には聞きにくいことなどをざっくばらんに話してもらい双方の理解とその後の就労につながるきっかけづくりの場となった。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="5">大阪府就業促進課就業支援グループとの連携、地域において就職を希望する者と中小企業担当者との交流会を通じた双方ミスマッチを解消することによる就業促進</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="5">地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど募集活動を行う。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="5">参加者や参加企業へのアンケートや聞き取りから、就職を希望する者のスキル・職場ニーズなどを分析し労務支援など相談事業につなげる。カルテ化件数なし。</td> </tr> </table>						①府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループとの連携、地域において就職を希望する者と中小企業担当者との交流会を通じた双方ミスマッチを解消することによる就業促進					②広域連携						③市町村連携	地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど募集活動を行う。					④相談相乗	参加者や参加企業へのアンケートや聞き取りから、就職を希望する者のスキル・職場ニーズなどを分析し労務支援など相談事業につなげる。カルテ化件数なし。				
	①府施策連携	大阪府就業促進課就業支援グループとの連携、地域において就職を希望する者と中小企業担当者との交流会を通じた双方ミスマッチを解消することによる就業促進																													
	②広域連携																														
③市町村連携	地域就労支援センターと連携、地域において就職を希望する者への事業の周知、参加の働きかけなど募集活動を行う。																														
④相談相乗	参加者や参加企業へのアンケートや聞き取りから、就職を希望する者のスキル・職場ニーズなどを分析し労務支援など相談事業につなげる。カルテ化件数なし。																														
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	1.5	支援実績率	30.0%	満足度	90.0																							
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>摂津市就労支援交流会は、実際に面接で聞きにくいことも聞ける双方にとって良い場であったと思われる。参加企業アンケートでは、2名中1名が「満足」1名「ほぼ満足」の回答で、満足度90%と概ね良好であった。また参加の目的は「欠員補充」が1名、「その他」が1名となっている。後日個別面談をしてもよいと思われた方は見つかりましたかという問いには、1名見つかったと回答し一定の効果があつた。就労希望者のアンケートでは「満足」が4名、「ほぼ満足」が2名、「どちらとも言えない」が1名で満足度は88.6%と良好であった。企業の説明と面談会で仕事や会社内容が理解できたかという問いには、「理解できた」が4名、「ほぼ理解できた」が3名で、非常に高く、仕事内容や年齢、勤務形態、パソコンのスキルや患者さんとのコミュニケーションまで幅広い知識や経験が必要という事を具体的にイメージできたと思われる。7人中6名が参加企業に興味があり、5名がもっと会社を知りたい、1名が講習後に面接を希望しており、今後につながる結果となった。</p> <p>面接をしてもよいと思う人材が見つかった</p> <table border="1"> <tr> <td>数値目標</td> <td>50%</td> <td>実績数値</td> <td>50%</td> <td>目標達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>						数値目標	50%	実績数値	50%	目標達成度	100%																			
数値目標	50%	実績数値	50%	目標達成度	100%																										
成果の代表事例	<p>受講企業名：A企業</p> <p>A企業は摂津市内に5店舗調剤薬局があり、その他大阪府内にも店舗を有しており、3/8(金)摂津市おしごとフェアにも医療事務の正社員募集で参加している。</p>																														
その他目標値の実績	目標値(計画)	10	目標値(実績)	7	目標達成度	70.0%	就労希望者交流会参加人数																								
実施結果 課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回、求人企業と就労希望者個別に色々な事が聞ける場をしたことで、企業、就労希望者ともに今後の就労につながる良い交流になった。1名あたり5分～10分程度の交流時間であったが、職場環境や就労形態などかなり詳しく就労希望者のニーズを聞くことができ、採用のミスマッチも事前に防ぐこともできるようになった。参加企業が少なかった原因が、就労困難者に対する積極的な雇用をしてくれる企業数の絶対数が少ないことから、次年度は地域における若者・女性・中高年齢者等の求職者の人材確保を積極的に進めてもらうための企業向けセミナーを実施して、採用企業の裾野を広げるとともに、企業で必要な人材のニーズを収集して、ニーズにあった就労支援事業を展開していく。</p>																														

摂津市商工会

事業名		摂津ブランド事業															
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>摂津市には約4249の事業所があり、うち小規模事業者は2987社、製造業者は750社となっており、人口1人当たりの製造業事業者数は北摂一を誇るものづくりのまちである。しかし、大手企業の下請けとなっている事業者も多く、生産のグローバル化により海外移転が進んでいる実情があり、今後の事業を発展・継続するうえで、下請け100%からの脱却や自社の看板製品開発が必要と感じておられる事業所も多い。</p> <p>そのために摂津市発の製品についての発掘および効果的なPRが必要であるため、市と共同で摂津ブランドを立ち上げ、摂津市内で作られている製品をブランド化し、効果的なPRにより販路の拡大や新規顧客の獲得等を目指すとともに、市民の郷土愛を育み、地域振興、商工業発展を目指す。平成29年度においては最終製品(飲食物を除く)をメインとして、募集を行ったが、平成30年度以降については、飲食物を含めた特産品や事業者の技術なども表彰していくことを検討とする。</p>															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市内製造業者等															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>摂津市及び摂津市商工会、ほか有識者により、中小企業応援プロジェクト！摂津ブランド認定委員会を立ち上げ、「摂津優品(せっつすぐれもん)」の名称で摂津ブランド製品の募集を行った。摂津ブランド事業の内容説明等のほか、申請書の記載方法のアドバイス等についても実施。</p> <p>募集期間：平成30年7月2日～7月31日 認定審査会：平成30年8月27日 認定式：平成30年9月3日</p> <p>摂津ブランド認定企業の特典として</p> <p>①展示会：大阪勤業展 平成30年10月17日～18日(摂津ブランド認定委員会として出展)、平成30年8月4日～5日摂津まつり出展、その他ビジネスマッチングフェアや大阪マラソン、ガンバ大阪市民感謝デー等に出展しPRを行った。</p> <p>②認定証およびブランド認定ロゴの付与を行った。</p> <p>③市ホームページ等から認定製品のPRを行ったほか、パンフレットも作成し、QRコードなどから商品購入が可能となるようにした。</p> <p>④市による展示会出展料をはじめとした広報PR費用の補助や個別による経営指導を行った。</p> <p>⑤関西大学政策創造学部との連携により、学生目線のパンフレット作成を行った。</p> <p>⑥J：COM放送により、摂津ブランド製品の紹介を各事業所ごとに行った。</p>															
		<p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>市産業振興課と共同実施事業</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>カルテ化件数 5件</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市産業振興課と共同実施事業	④相談相乗	カルテ化件数 5件
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	市産業振興課と共同実施事業																
④相談相乗	カルテ化件数 5件																
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画) ※上ハンズオン、下販路開拓	5	支援企業数(実績)	2	支援実績率	40.0%	満足度	75%									
		6		6		100%		75%									
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	自社の強みを踏まえて広くPRできた事業所															
	数値目標 ハンズオン	3	実績数値	2	目標達成度	66.7%											
	指標	認定製品をPRできた事業所															
	数値目標 販路開拓	4	実績数値	5	目標達成度	125.0%											
成果の代表事例	J：COM放送の日にA企業の樹脂加工部門とB企業において、ルアーなどの樹脂加工製品についての取引に繋がる可能性の話になった。残念ながら、本年度の大阪勤業展においては、大きく取引に繋がるような話は無かった。																
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度												
実施結果 課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>公式パンフレットのほか、関西大学政策創造学部との連携で彼ら目線のパンフレットを作成した。他に、大阪勤業展の他、小規模な展示会等の出展とホームページなどからの紹介により、認定製品をPRできたものの、摂津市内を含めて認知度としては、まだまだな部分も感じられる。今年度は初めて食品を認定したものの、範囲が広くどこまでを認定対象とするかが難しく地域産品である「鳥飼なす」に限定した。よって、認定の件数が広がらず2製品に留まってしまった。次年度以降で、再度検討していきたい。</p>																



摂津市商工会

事業名		小規模店舗参加型スクラッチカード事業							
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 <small>(現状や課題をどのような状態にしたいか)</small>	<p>摂津市内は4249社程度の事業者があり、卸・小売・飲食で1279事業所、サービス関連で555と合計1834社近くが本事業の対象である。(RESAS調べ)</p> <p>市内には商店街が4つあるものの、商店街単位でのイベントを行っても、限られた商業者しか参加できない。</p> <p>そこで、摂津市では平成21年度から継続して商品券発行事業を実施。平成27年度には国の事業として開催するものの、商品券事業は費用や労力負担が大きく、また消費者の利用先の大半が大型店に流れてしまっていた。</p> <p>今回、小売業・飲食業・サービス業等の小規模事業者をメインターゲットとし、スクラッチカード事業を行うことで、参加店舗については、消費者とのつながりを強化し、今後の売上増加とリピーターの確保に繋げることを目的とする。</p>							
	支援する対象(業種・事業所数等)	摂津市内小規模小売業、飲食業、サービス業等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>セッピースクラッチ事業(場所:摂津市内各店舗)                      日程:平成30年11月1日(木)～12月10日(月)                      参加店舗数: 208店舗                      スクラッチカードを約7.4万枚発行。208参加店舗に約280枚を均等配布。                      ※余分に必要な事業所には1000円/100枚で販売。39店舗177セットが購入された。                      顧客の購入価格500円ごとにスクラッチカードを1枚進呈。(最大5枚まで)                      スクラッチカードのあたりは300円の買い物券(約1.4万枚)を発行。                      今年度は市のマスコットキャラクター「セッピー」マークが出ると、市発行の商品券(@500×6枚綴り×200名)が抽選で当たる事業を実施。広くさまざまな店舗に行ってもらいたいことから、市内店舗を4地域に分け、そのうち2地域のセッピー券を集めて、市に応募できる方式で行った。                      昨年一部店舗で購入した景品の提供を行ったが、広く市内店舗で利用いただきたい思いから商品券事業とした。商品券利用可能店舗(68店舗)                      また、はまち券を利用した特典(すべて参加店舗負担)については117店舗が参加                      &lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市の協力し、参加店の募集、商店街との調整、広報活動、換金作業等を分担し実施。							
	④相談相乗	カルテ化 44件							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	200	支援企業数(実績)	208	支援実績率	104.0%	満足度	63%
	目標の達成度 <small>(支援企業をどう変化させることができたか)</small>	<p>今回の取組みで、店舗ごとで販促についての重要性を理解いただける店舗と、自店の魅力のなさ(利用者がいない)をスクラッチのせいにされておられる方、市や商工会で店舗のために行っている事業がしてもらって当たり前との温度差を感じた。</p> <p>顧客とのコミュニケーションツールとして話のきっかけになるなど、コミュニケーションツールとして利用いただいている部分が大きく感じた。</p> <p>各店舗については努力なしで結果が出ない時代を理解している店舗と努力や負担もなく魔法のように顧客が増えるようなものを求められている店舗が多いことも感じた。</p>							
		指標	売上・または集客が増した事業所の割合						
		数値目標	60%	実績数値	24%	目標達成度	40.0%		
	成果の代表事例	<p>正雀本町商店街で営業しているA企業においては、新規顧客獲得に繋がったほか、スクラッチの換金枚数391枚と、はずれ券サービスを上手く活用され、40名と割引などと上手く工夫されたため、多くのお客様の利用があった。</p>							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み <small>(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</small>	<p>市との連絡調整の不備によるアンケートの聞き方が悪かったせいか、売上や集客に繋がっているにもかかわらず回答いただけてない部分も多く感じた。(アンケート未回答も非常に多く34件あった)今回の商品券事業は、「広くさまざまな店舗を知って欲しい」「若い人にも小規模店舗を利用してほしい」という思惑でスタンプラリー形式で実施したが、年配の利用者からは、「そんな遠くまで行けない」「めんどくさい」というクレームが多々あった。3000円分もの商品券を渡すにあたっては、それなりの努力をしてもらう必要があり、やり方としては間違っていないと思うが、店舗の方に高齢者に理解してもらうための説明の手間がかなりかかったことが最大の失敗であり、次年度は店舗の声を聞きながら改善していきたい。ただ、摂津市内の各店舗の状況等が把握できた部分も多々あるため、各種イベントや施策の提案なども行っていきたい。</p> <p>また、消費者アンケートの中で、スクラッチ事業の満足度は「満足・まあ満足」で81%となり、普段買い物しないお店で買い物をした割合も46%、スクラッチがもらえるからいつもより多く購入した割合も38%にのぼった。</p>							

摂津市商工会

事業名		摂津まちゼミ（摂津市商業活性化事業）																																						
想定する実施期間		27 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 <small>（現状や課題をどのような状態にしたいか）</small>	<p>摂津市は、まちゼミの主な対象となる卸・小売、飲食・サービス業など1834件ある。RESAS調べ（それ以外にも対象となる事業所は数多く存在している。）市内に商店街は4つしかなく、商店街以外の商業者が市内に広範囲に点在している現状があり、市内の各小規模商業者が売上拡大および事業を継続していくためには新規顧客の獲得と、リピーターの確保が必須である。「まちゼミ」事業は商店街イベントとは違い、点在する個々の店舗でも参加が可能であるため、本市の商業等の状況にあった事業である。</p> <p>また、ネット通販や大型店には価格や品ぞろえで対抗が不可な小規模事業者については、まちゼミのコミュニケーションの中から「この人から買いたい」「この人から買ったら安心」と消費者に思っただけの「人でモノを売る」ことが可能となるとともに、消費者のニーズを聞き取る機会となるイベントであり、個店の活性化により店舗力のアップだけでなく、周辺地域の活性化に繋げることを目的とする。</p>																																						
	支援する対象 <small>（業種・事業所数等）</small>	摂津市内の小売及びサービス業などの事業者																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>セミナー（場所：摂津市商工会） 日時：平成31年1月9日（水）19：00～21：00 内容：まちゼミ交流会研修 講師：岡崎まちゼミの会代表松井洋一郎氏 参加者：10社</p> <p>摂津まちゼミ（場所：摂津市内各店舗） 日程：平成31年2月1日（金）～28日（木） 参加数：21社（23講座） 参加顧客数：196人組</p> <p>kids&amp;親子まちゼミ 日程：平成30年7月23日（月）～8月21日（火） 参加数：13社（13講座） 参加顧客数：156組</p>																																						
		<p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">市の後援を得て、小中学校配布を行った。</td> </tr> <tr> <td>④相談事業相乗</td> <td colspan="7">カルテ件数 9件</td> </tr> </table>							①府施策連携								②広域連携								③市町村連携	市の後援を得て、小中学校配布を行った。							④相談事業相乗	カルテ件数 9件						
	①府施策連携																																							
②広域連携																																								
③市町村連携	市の後援を得て、小中学校配布を行った。																																							
④相談事業相乗	カルテ件数 9件																																							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画) ※上セミナー、下まちゼミ実施	18	支援企業数(実績)	10	支援実績率	55.6%	満足度	90																															
			30		21		70%		77																															
	目標の達成度 <small>（支援企業をどう変化させることができたか）</small>	<p>まちゼミ交流会については、通常営業時間中となるため、非常に参加率が悪い。しかし、今年は参加者同士でまちゼミのLINEグループを作っており、情報交換だけでなく、グループクーポンなどを発行していきたいなど、今までにない盛り上がりを見せてくるようになってきた。</p> <p>まちゼミ講師によるセミナーを受けて実施するしないで効果が大きく変わってくることもわかった。</p>																																						
		指標	販売促進に対する意識向上ができた事業所																																					
		数値目標 セミナー	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%																																	
	数値目標 まちゼミ	70%	実績数値	91%	目標達成度	130.0%																																		
成果の代表事例	<p>今回初参加となったA企業において、まちゼミ自体には5名参加と少なかったものの、うち3名がリピーター化した。全国的にリピート率25パーセントと言われているまちゼミの中でも抜きん出たリピート率を得ることができた。また、B企業に参加されたお客様で、摂津に引越してこられたご夫婦より、まちやお店を知るのに素晴らしい事業であるとお褒めいただくとともに、リピーターになった。</p>																																							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/0!																																		
実施結果 <small>（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</small>	<p>事業としては今までの販促イベントとしては非常に大きい効果があるものの、手間暇と費用が非常にかかる事業である。ただ、現状の商業施策では、これしかないと言える状況であり、今後についても継続していきたい。本年度については、夏にKids&amp;親子まちゼミを実施、参加店舗数が少なかった割に参加者数は非常に多かった。（リピート率は落ちるであろうが・・・）Kids&amp;親子まちゼミに関しては、子どもの頃から商店街のお店に入れるよう習慣づけを目的とし、即リピーターに繋げることはあまり考えていない。次年度については、アンケートやまちゼミの今回できたLINEグループなどから、実施方法を考慮していきたい。</p>																																							

摂津市商工会

事業名		製造業経営者支援事業							
想定する実施期間		20 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市内の製造業は750社ある。(RESAS調べ)また、人口1人当たりの製造業事業所数が北摂一を誇るものづくりのまちである。 ただ、製造業の経営者にとって、同様の立場の集まりでの交流などによる情報交換や協力事業を実施する機会が少ない。そこで、参加者主導による研修事業の検討や展示会への出展、他団体との交流などをとおして、取引や横のつながり、情報交換・意識改革などを行うことにより、今後さまざまな形で経営に役立てることを目的とする。							
	支援する対象	市内製造業を中心とした750社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	4月～3月の間で、19時ころより摂津市商工会館をメインの場所として横のつながりや情報交換を行うための会を6回その日に議長担当者が議題を決定し開催。 会議の他に摂津まつりを2日、摂津まるごとマーケットへ1日、参加者については15名。 ①平成30年4月19日(木) 会議：求人状況について、こどもフェスティバルの実施に向けて他 ②平成30年6月14日(木) 会議：リーダーの資質について、摂津まつり役割分担、大阪勧業展募集について他 ③平成30年9月13日(木) 会議：製造業の保険の話他 ④平成30年11月8日(木) 会議：従業員自身および従業員の健康管理について他 ⑤平成31年1月17日(木) 会議：納品後のクレーム対応と品質管理について他 ⑥平成31年3月14日(木) 会議：給与支給の方法および大型連休および休業日の日当補償について、次年度事業の開催について  平成30年5月13日(日) イベント：こどもフェスティバル(雨天により中止) 平成30年8月4日(土)～5日(日) イベント：摂津まつり当日 平成30年9月9日(日) イベント：摂津まるごとマーケット  <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	市主催イベントへの出展等を行った。							
	④相談相乗	カルテ化 1件							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	85
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	会議において、テーマに沿った討論と企画・提案が可能となった。 また各種イベント等のほかに、地域のまつりに2日間、摂津まるごとマーケットへの参加(製造業者目線だけでなく商業者目線を養うこと、ものづくりに発想を活かすため) 会の中から1社が大阪勧業展に出展。販促活動を行った。 地元の星翔高校のインターンシップを3社が受け入れ、若者の現状や考え方を参考いただけた。							
		指標	取り引き、連携などが行われた事業所						
		数値目標	60%	実績数値	80%	目標達成度	133.3%		
	成果の代表事例	会議と交流の大きな成果としては、自社で出来ない仕事量や仕事内容についてのやり取りが成果としてあがっている。会議等をおして業界の業況や、海外展開事例、人材や雇用、展示会や補助金等の情報交換ができ、仕事内容の周知や人間関係の構築が成果としてあがった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/O!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業内容としては、ますますの内容の事業を行えたと感じているが、若干マンネリ化は否めない。 今後も他の地域活性化事業をはじめ、研修会や他団体等との交流会、人材面や補助金等各種施策の紹介、さまざまな面からのサポートを行っていききたい。 またカルテ化が件数が少ないため、更なる支援を行っていく必要がある。							

摂津市商工会

事業名		障がい者 求人・求職マッチング								
想定する実施期間		16 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	障がい者は採用募集企業とのマッチングの機会が少なく、また限られる状況のため、その機会を提供し市内中小企業への雇用確保と障がいを持った求職者の雇用促進を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業者と障がいを持った求職者								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	平成30年9月7日(金)13時～16時 摂津市立コミュニティプラザにて開催。 参加者数 94名 面接応募者数 92名 参加企業数 11社 求人企業との就職面接会 雇用・就労・職業訓練・生活相談会、職業訓練相談会を実施								
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所、就業促進課等との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。							
	②広域連携									
	③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。								
	④相談相乗									
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績 (数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	11	支援実績率	110.0%	満足度	95	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業者、求職者からのニーズは非常に高い事業であるため、会場はより大きな場所へと変更した。結果、参加事業者は前回の8社から11社へ、来場者数は88名から94名へと増加し昨年度より盛況といえる。内容も全ての事業者が、「満足」又は「やや満足」と回答され採用活動の一環として大いに活用・満足して頂けたと思われる。(満足度は企業アンケートより集計、5段階評価で数値化、「満足」100%・「やや満足」80%・「普通」60%・「やや不満」40%・「不満」20%で計算。)								
		指標	面接者から採用に至った人数の割合							
		数値目標	5%	実績数値	8%	目標達成度	152.0%			
	成果の代表事例	面接応募総数は92名で、そのうち7名が今回のフェアで採用となった。企業数でいくと4社である。中でも、A企業は募集が営業事務職4人、オペレータ2人、その他3人の合計9人募集に対して応募が13人、採用が3人となり、上手くこのフェアを活用して頂けた事例である。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	90人	目標値(実績)	92人	目標達成度	102.2%				
	障がい者就職フェアで企業との面接を行った人									
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	法定雇用率改正の影響、企業の社会的責任から出展企業は出てきているが、中小・零細まではとても普及していないので、今後も募集する際に周知して、少しでも採用に前向きな企業を増やしていきたい。また、今年度は新しい取組として面接前に全社から1分間自己紹介スピーチを行ってもらい好評であった。来年度も事業者と求職者の距離が近くなるような取組みを考えていきたい。								

摂津市商工会

事業名		摂津市おしごとフェア								
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	働く意欲がありながら、就労を実現できない方のために、摂津市、ハローワーク茨木、大阪府総合労働事務所、摂津市商工会で開催します。大企業よりも中小零細企業は雇用の確保が問題であり摂津市商工会でも、おおむね正社員求人を対象とした3市1町合同就職面接会、障がい者求人を対象とした障がい者求職マッチングを既に実施しています。そこで本フェアはおおむね事務職、パート職を対象として企画します(求職者はおおむね女性向け、しかし女性限定ではない)。平成30年の配偶者控除・配偶者特別控除の税制改正等により働き方が多様化し、それに伴う就業ニーズが発生する可能性は十分あります。それらに対応した雇用、就業機会のため、お仕事お役立ちセミナー、就労相談、創業相談、就職説明会・面接会等を同時開催します。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、10社程の中小企業及び来場者数30名。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	平成31年3月8日(金)13時～15時30分 摂津市産業支援ルームにて開催。 参加者数 46名 面接応募者数 19名 参加企業数 8社 求人企業との就職面接会 中高年お仕事相談、シルバー人材センター相談、お仕事検索コーナー、VRTカード診断、起業相談を実施								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、協議、広報、会場設営、当日開催等を共に取り組む。							
	②広域連携									
	③市町村連携	摂津市、ハローワーク等と調整・協議をしながら、求人企業募集、会場設営、当日開催など役割を決めて進める。								
	④相談相乗									
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	8	支援実績率	80.0%	満足度	80	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	参加企業のうち採用に至った企業数							
		数値目標	3	実績数値	3	目標達成度	100%			
	成果の代表事例	A企業は業務拡大につき、ハローワークで全ての業種の求人を掲載していたが、問い合わせはなかった。しかしこのフェアにて、最も採用しづらいロードサービス職の面接希望者が表れた。経歴も自動車専門学校卒で前職も自動車会社に勤めていたため即戦力となり、採用に至った。このフェアを活用した代表事例と言えます。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)	30人	目標値(実績)	46人	目標達成度	153.3%			
	来場者(来場された方へのアンケートなどで把握)									
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	求職者が集まりにくい就職フェアであるが、ネット告知、新聞折り込み広告など新しい取組を入れて46人の参加者が集まった。また企業には1分間自己紹介スピーチを行ってもらい自社をPRしてもらい面接を促してもらった。しかし、面接者が少なかった企業の満足度は低いため、来年度も事業者と求職者の距離が近くなるような取組みを考えていきたい。								

摂津市商工会

事業名		マジック&ミュージック								
想定する実施期間		30 年度～ 30 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	摂津市にはJR千里丘駅、阪急正雀駅等があり周辺には飲食店も連なっているが通学、通勤客は降車してから直接帰路に着くケースが多く飲食店組合等の団体も無く連携も少ない。そこで摂津市を中心とした飲食店を対象にイベントを実施し気軽に来店できる環境を作り飲食店にランチタイムや通勤通学帰りの夜間に新規顧客を呼び込み常連客へと発展する支援が本事業の目的である。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市を中心とした周辺市内飲食店およそ20店舗								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時	平成30年9月26日(水)、10月31日(水)、平成31年2月13日(水) 各日とも19:00~21:00							
		開催場所	摂津市を中心とした周辺市内飲食店 15店舗							
		内容	参加店舗にて、出演者のマジシャンやミュージシャンがマジックや音楽などを披露するイベント							
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>										
	①府施策連携									
	②広域連携									
	③市町村連携	摂津市より後援をいただき、イベントの信頼性を高める。								
	④相談相乗	カルテ化0件								
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	15	支援実績率	75.0%	満足度	87	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	来店総客数は259人(新規:66人、既存:193人)であった。今回3地区で合計3回の開催となり、小規模個人店の参加もあったが多くのお客さんに来てもらうことができた。各店舗は、イベント開催時にどのようにすれば、イベントを成功させることができるかを考える機会を得ることができた。イベント終了後もイベントについて検討しようとする店さえあった。本イベントを通じての販路開拓の方法を模索するきっかけを与えたものであるといえる。また、これまでは飲食を漠然と提供していただけの店もあったが地域の一体化のためや宣伝のため等きっかけはバラバラではあるが一つのイベントに対して地域一丸で取り組めたことは地域活性化に繋がったといえる。								
		指標	全来店客内の新規来店客割合							
		数値目標	30%	実績数値	25%	目標達成度	84.7%			
	成果の代表事例	飲食店Aは今年開店した新規店である。イベントをしたことがなかったのでイベントの体験を積むことができた。								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/0!				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は事業を3地区で開催した。そのため、とても小さいお店の参加もあり全体的な来店客数が開催回数に対して、伸びが悪かった。新規客数が目標に達していなかったのは、新規のお客さんを獲得することを目的であるということの周知が徹底されていなかったため、お店の人が常連客を呼び込みお店に入れなくなってしまったことがあった。新規客獲得をより目指すのであれば、お客さんが来やすい金曜日開催も検討する必要がある。反省点としてはお店との打ち合わせをより綿密にすべきであった。								

摂津市商工会

事業名		魅力ある職場づくり対策交流会（目指せ生涯現役） 社員の健康で企業の業績アップセミナー							
想定する実施期間		30 年度～ 30 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>少子高齢化による労働力人口の減少、人手不足の近年、企業の売上アップには現在勤務する従業員の健康が第一です。従業員の健康管理は経営を考える上では、必要不可欠です。病気があっては働きたくても働きません。特に女性がいきいき活躍する職場こそが働きやすい職場と言えます。小規模事業所が人材確保の好循環の恩恵を受けるために、健康意識を高めて企業の生産性向上を図ることが必要と言えます。毎日の業務活動の中に健康体操や健康管理の手法を取り入れ健康寿命を延ばし、従業員の健康管理ならびに健全な企業経営と成長に役立てることを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小規模事業者の事業主並びに人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>実施時期：平成30年11月20日（火）14：00～16：00                      開催場所：摂津市商工会会議室                      講師：(株)ウエルネスヒロ 代表取締役 池端裕子氏                      内容：健康セミナー ・交流会 ・健康体操                      1.健康経営のメリットとポイント。健康経営を評価するための5つのポイント。中小企業が健康経営に取り組む理由。ストレスチェック制度の必要性。ストレスを減らす5つのR。定期健康診断の必要性。高血圧予防と適正体重の維持のための運動。健康管理の重要性。                      2.交流会：他の事業所（参加者）の健康への取り組み例の発表・交流                      3.職場で出来る簡単体操                      4.個別相談会</p>							
		<p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	摂津市役所産業振興課にてチラシ配布PRを行なう。	④相談相乗	カルテ化 9件
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	19	支援実績率	95.0%	満足度	88.4
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>受講者アンケートの結果によると研修（交流会）の満足度は『満足』…9名、『ほぼ満足』…9名、『普通』…1名、『やや不満』『不満』は0名であり満足度は88.4%となった。セミナー内容の理解度は『よく理解できた』…12名、『ほぼ理解できた』…6名、『理解できた』…1名、『ほぼ理解できなかった』『理解できなかった』は0人となり、研修会の内容はほぼ理解してもらえたと感じている。また研修会（交流会）に参加した成果で、中小企業はなぜ健康経営に取り組んでいかなければならないか、健康管理の重要性を理解してもらえた。</p>							
		指標	健康管理の重要性の理解度						
		数値目標	70%	実績数値	91.5%	目標達成度	130.7%		
	成果の代表事例	<p>従業員の健康管理の重要性を理解して頂け経営の改善として労働法で定められた検査を受診するようになった。また、朝礼時に従業員の健康チェックを行うようにもなった。</p>							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/O!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>セミナー・健康体操・交流会形式で開催したので、社員の健康の重要性、対処方法について理解し、考えてもらうことができた。交流会形式でも、各社の健康に対する取組みについての話を聞くことができ（活発な意見交流の場となった）、健康経営の改善の参考になったとのお声を頂いた。</p>							

摂津市商工会

事業名		承継・創業経営者交流研修 (北摂地域連携！起業家×企業家交流会！)						
想定する実施期間		23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	事業承継者や創業者は、様々な問題を乗り越える為の知識や解決力が十分には備わっておらず、経営がうまくいっていないケースが多い。創業ないしは事業を承継して1～5年くらいの経営者に、新しい革新的な発想で経営の方向性を変えていく経営課題に共に取り組むことで、自社の課題と問題点を発見し、広域による企業同士で知的・人的ネットワークを広げ、改めて自社のあるべき方向性を検討することを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪三島地域に属する全業種事業所市内事業所の経営者、創業期(創業1年から5年)安定期、安定下降期、下降期等の企業のライフサイクルに入っている企業経営者						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■開催日時：第1回 平成30年 5月30日(水) 19:00～21:00 第2回 平成30年 6月21日(木) 10:00～12:00 第3回 平成30年 7月24日(火) 14:00～16:00 第4回 平成30年10月12日(金) 13:00～14:30 ■会場：第1～3回 摂津市産業支援ルーム、第4回 大阪人間科学大学 ■講師：一般社団法人 関西dラボ 代表理事 岡田 明穂 氏 ■テーマ：ビジネスモデルキャンパスで変化・進化し続ける力を身につけよう ■事業内容：事業を立ち上げる、事業を継続していく為に必要である自社のビジネスを変化・進化し続ける力をイノベーションツール「ビジネスモデルキャンパス」を活用して、身につける ■参加者数：30名(のべ32名) 内訳：第1回 12事業所12名、第2回 大阪北部地震により中止、第3回 11事業所11名、第4回 9事業所9名、学生14名)						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携						
②広域連携	摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。全4回開催運営は摂津市商工会が担当。茨木商工会議所も当日参加。交流会も毎回終了後40分程度開催して、事例経営者やグループ以外の参加者とも交流が図れるようにした。							
③市町村連携	摂津市が創業支援事業計画の認定を受けており、創業セミナーとも連携							
④相談相乗	交流も目的としているので、近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数1件。							
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	56	支援企業数(実績)	30	支援実績率	53.6%	満足度	91.9
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数の内訳は、高槻5社、茨木5社、吹田0社、島本0社、摂津6社、その他14社であった。今回のセミナーの受講者アンケートでは、全3回で、延べ32名中20名が「満足」、11名が「やや満足」で「どちらとも言えない」、1名が「やや不満」「不満」はゼロで、満足度91.9%とかなり高い満足度となった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が20名、「どちらかといえば理解できた」が12名で参加者のほとんどが内容を理解しており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思いますがという設問に対し、「活用していきたい」が24名、「活用を検討したい」が8名と参加者全員が今後の活用に意欲を見せている。本セミナーはビジネスモデルキャンパスにより自社のビジネス構造を把握し、進化・変化させるのに、どの部分を変えていき、どの部分は変えないのが明確になり、共有・共感することで、お互い事業で連携できる事や新たな事業に気づききっかけ作りになったと思う。						
	事業改善又は新規事業取組に対する意識改革度							
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125%		
成果の代表事例	受講企業名：A企業 昨年、チャレンジショップに参加した事がきっかけで、手作りのアクセサリー、雑貨、アパレル販売業でお店を開業。希少な素材を活かしたオンリーワンアクセサリーを製作できるという強みと小規模事業者持続化補助金を活用して、コンセプトのはっきりしたお店に改装し商品構成も変更。今後はお店でのワークショップ開催を通じて、自身のファンを増やすとともにアクセサリーのパーツ販売などにも注力していく予定。							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/O!		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回はビジネスモデルキャンパスというツールを使って、自社のビジネスの構造を把握してもらい、どの部分を進化させたらよいかというのを体験してもらいました。起業や事業承継の際に永く続くビジネスというのは、どこかで転換期があって、そこでうまくビジネスを進化させているから乗り越えていった、変えてはいけない終始一貫したものも必要だということを実際にキャンパスで体験してもらうことで、自社に置き換えて考えられるきっかけになたと思います。参加者が起業家・承継者・企業規模が違うなど多様な中で本セミナーの参加者が求める本質は一緒だと感じました。課題は集客でできるだけ多くの方に参加してもらえようというテーマを設定していきたいと思えます。						



摂津市商工会

事業名

クラウドファンディング活用セミナー

想定する実施期間

23 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的

(現状や課題をどのような状態にしたいか)

中小企業や個人事業者が新たな商品開発や新事業展開時、また社会的課題やニッチな市場に対する新サービス展開時に金融機関から資金調達する場合、既存事業の決算内容による可能範囲額の融資しか受けることができず、経営余力のある事業所でないとなりと取り組みが難しい現状にある。  
 新たな資金調達手段となるクラウドファンディングは不特定多数の個人から少額の出資を募ることができるため、この資金面での課題解消に有効である。その一方で、クラウドファンディングで出資を募るためには、出資者である個人にSNSなどを通じていかに共感や興味をもたれるような商品や事業を展開するかが非常に重要になる。そこで、普及・啓発セミナーを開催し、手法を学んでもらうとともに、クラウドファンディングによって、社会の課題に対する必要度やニーズを事前にマーケティングすることができるツールとしても活用を促進する。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

摂津、茨木、高槻、吹田、島本および周辺地域の全事業所の事業主および担当者。創業者及び創業予定者。

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

アイデアをカタチにしたい！チャレンジしたい！クラウドファンディング活用セミナー  
 ～あなたのビジネスをクラウドファンディングで加速&拡大する！～  
 ■開催日時：平成31年 2月8日(金) 10:00～12:00  
 ■会場：摂津市産業支援ルーム  
 ■講師：GLC Japan(株)代表取締役 山之内 敦 氏  
 ■内容：クラウドファンディングとは  
 クラウドファンディングを始めるために必要なことは  
 クラウドファンディングを成功させるために4つの要素  
 実践！「生きた経営学」体験プロジェクト  
 グループワーク  
 ■個別相談 6件 【2/8(金)3件、2/13(水)3件】  
 ■参加者数：31事業所33名

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

- ①府施策連携 大阪府商業・サービス産業課新事業創造グループとの連携、メルマガ等でPRしていただいた。
- ②広域連携 摂津市商工会が幹事で、高槻商工会議所、茨木商工会議所、吹田商工会議所、島本町商工会にて受講者を募集。開催当日において、各所担当者が協力して運営を行った。
- ③市町村連携 摂津市、摂津市男女共同参画センターに摂津市広報等で創業者、創業希望者に周知をしていただいた。
- ④相談相乗 交流も目的としているので、グループワークで近隣の事業所と交流することによって、新たな連携や販路開拓も目指す。また、専門家による相談事業にもつなげる。カルテ化件数7件。

計画に対する実績(数値)

支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	105.0%	満足度	92.3
-----------	----	-----------	------	-------	--------	-----	------

目標の達成度

(支援企業をどう変化させることができたか)

支援企業数の内訳は、高槻0社、茨木4社、吹田3社、島本0社、摂津6社、その他20社で参加者の2/3が企業で1/3が創業または創業希望者であった。今回の受講者アンケートでは、回答があった38名中21名が「満足」、8名が「やや満足」、1名が「どちらとも言えない」と回答し、「やや不満」「不満」はなく満足度92.3%と良好であった。また、研修会の内容が理解できましたかという問いに対して、「理解できた」が25名、「どちらかといえば理解できた」が6名、「どちらかといえば理解できなかった」「理解できなかった」はなく、100%が大体理解できており、講師の説明も分かりやすかった。そして、今後の事業拡大に活用しようと思えますがという設問に対し、「活用していきたい」が19名、「活用を検討したい」が10名、「未回答」が2名と93.5%が活用に見せている。本セミナーは小規模事業者や学生が挑戦した実際のクラウドファンディングのプロジェクト話を直に聞いて、グループワークでアイデアを出し合うことで、自身や自社のビジネスにどのように活用するか具体的にイメージしてもらい、活用検討に至るファーストステップとなったと思われる。

参加企業のうちクラウドファンディング活用検討に至った企業数

数値目標	10社	実績数値	29社	目標達成度	290.0%
------	-----	------	-----	-------	--------

成果の代表事例

受講企業名：A企業  
 自社製品のゴルフティ「ホークティ」がメードインセッツの製品という事で摂津ブランドにも認証され、ドラコンの選手とタイアップして、強さと飛距離を売りにイベントや展示会販売、代理店販売と地道に販路を拡大してきたが、なかなか知名度が上がらないので、限定モデルを開発しクラウドファンディングに挑戦することになった。また他にもマクアケを中心に準備している企業も数社あった。

その他目標値の実績

目標値		目標値		目標達成度	#DIV/0!
-----	--	-----	--	-------	---------

実施結果

課題及び次期以降への取組み  
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

クラウドファンディングは、資金調達の手段としての役割が先行しているが、販路やブランド力のない小規模事業者でも自らができるマーケティングや販路開拓の手段としての役割の方が重要になってきている。ただし、実際に事業者がプロジェクトを成功させるのはきめ細やかなノウハウも必要となるので、今回のセミナー講師のようなクラウドファンディング支援事業者を利用することで、小規模事業者や創業者のプロジェクト達成をより高い精度にできるように、今後もセミナーで最新の情報や有益な活用方法を提供して進めていき、利用企業を一社でも多く出していきたい。

摂津市商工会

事業名		人財力強化（人材育成）セミナー								
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	今後の小規模事業者の成長を支える上で、人財（従業員は会社の財産）力の強化や活躍の場づくりが今後最も重要だと考えられる。とりわけ小規模事業者については、摂津市全体約4249事業所のうち2978事業所と全体の70%を占めており、茨木市全体で9132事業所のうち5889社と全体の64%を占めており（経済センサス調べ）、業種を問わず従業員の雇用及び雇用維持が問題となっている。また、これらの小規模事業所については、人材募集しても応募が無い「人材不足」、雇ったとしても続かない「育余力不足」の問題が顕著となっている。このため本セミナーをとおし事業主・管理職・従業員を中心とした支援を行い、安定した雇用確保と定着による業績向上をめざしてもらおう。また雇用機会の創出として「OSAKAしごとフィールド」の企業向け支援事業の紹介を実施することで小規模事業者の人材確保と育成を支援する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	摂津市・茨木市の各事業所および周辺事業所の事業主および従業員								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：平成31年3月8日（金）18：00～20：00 場所：摂津市商工会 講師：櫻井恵理子 Happiness Career Lab.代表 内容：ディズニー流の育て方に学ぶ魔法の人財育成術 参加社数：22社（23名）※応募数28名 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	おおさかしごとフィールドの紹介および利用促進を行った。							
	②広域連携	茨木商工会議所と連携（募集活動・当日の準備・片づけ作業）								
	③市町村連携	市産業振興課窓口において、セミナーチラシを配布								
	④相談相乗	カルテ化 2件								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	22	支援実績率	110.0%	満足度	95	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業主やリーダー的役割を担っておられる参加者において、売り手市場のこの時代に、人を雇い継続させるノウハウを理解いただけたとともに、他社の状況や情報交換ができた。このセミナーを自社で役立てたようと思った方の割合が非常に高く、自社へのフィードバックがかなりの割合で期待できると感じた。								
		指標	セミナーの内容を自社で役立てようとする事業所							
		数値目標	70%	実績数値	95%	目標達成度	135.7%			
	成果の代表事例	A企業、B企業、C企業においては、おおさかしごとフィールドの活用、および詳しく内容を聞きたいとのことであったので、担当者への連絡を行った。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	人材育成については、どの事業所も悩んでおられる状況はうかがえる。時代にあった人材育成方法を模索し、開催する必要があると感じる。 今回のセミナーを通じて、経営者や管理者向けだけでなく、従業員のモチベーションの向上や意識改革に対応した内容も検討すべきと感じた。 今回は、講師や内容についても工夫を凝らしての開催となったため、かなりの人数の集客と満足度を得ることができた。 ただ、アンケートの無記名が5件あったため、工夫が必要と感じた。								

摂津市商工会

事業名		労働法改正対応セミナー～労務担当者が知っておくべき最新法令～																																							
想定する実施期間		30 年度～ 30 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2018年問題と言われる労働契約法改正や職業安定法改正など労働法改正案件のみでなく、配偶者所得控除・配偶者特別控除の税制改正の変化まで捉えると事業所の労務における外部環境は日々変化します。それらに対応して労務管理を維持するには労働保険、社会保険、労働契約等の最新の知識を取り入れる必要があります。そこで本セミナーを実施することにより基礎的な知識から、最新の情報までのアップデートと対応法を習得し、さらに、使えそうな最新の助成金の活用まで紹介することにより、労働環境の整備だけでなく、労働者のモチベーション向上の実現を目指すとともに、経営を労務面から安定させることができるようになることが目的です。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小規模事業者の事業主並びに人事・労務担当者																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：平成30年8月27日(月)・9月3日(月)・9月10日(月) 14:00～17:00</p> <p>場所：摂津市商工会</p> <p>講師：高田 崇一氏(社会保険労務士)・烏野 茂孝氏(社会保険労務士)</p> <p>内容：テーマを「雇用保険・社会保険(適用編)」「雇用保険・社会保険(給付編)」「最新の法改正・労務トピックス」に分けて開催する。3回のセミナーで従業員管理の基礎的な手続きから今年度の法改正の重要項目である「働き方改革」の紹介、実務の対応方法の提案までを行う。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。 カルテ化 5件。</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。							②広域連携	「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。							③市町村連携								④相談相乗	セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。 カルテ化 5件。						
	①府施策連携	大阪府総合労働事務所等との連携して、セミナーを実施する。																																							
	②広域連携	「摂津市商工会」と「茨木商工会議所」で連携をとる。各テーマによって講師は茨木と摂津でそれぞれ選定する。																																							
③市町村連携																																									
④相談相乗	セミナー終了後に監督署の是正勧告への対応方法等の相談を受ける。 カルテ化 5件。																																								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	45	支援企業数(実績)	55.5	支援実績率	123.3%	満足度	87.7																																	
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>労働保険、社会保険の基本的な手続きの方法から入り、労働基準監督署の対応方法、働き方改革の実例による対策の提案を説明した。特に、「働き方改革」の残業時間の上限規制や年間5日の年次有給休暇の取得義務化は大きなテーマであり商工会にも相談が多い。セミナーでは制度導入の検討を始める前にまずは、自社の従業員の労働時間及び残業時間を把握し減らす方法を検討した後に制度導入を勧めるアドバイスを行った。併せて具体的な事例を挙げての説明でもあり、参加者にも好評を得た。その結果、セミナー参加後、アドバイス通り自社の労働時間を見つめ直す作業から入り、就業規則、労使協定の検討を行うなどの変化が見られた。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70</td> <td>実績数値</td> <td>85</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">121.4%</td> </tr> </table>								指標	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合							数値目標	70	実績数値	85	目標達成度	121.4%																			
指標	労務管理の見直しに役立つと思った事業者の割合																																								
数値目標	70	実績数値	85	目標達成度	121.4%																																				
成果の代表事例	まず、残業代目的に残っている従業員へ声掛けを行い残業代を減らす運動を行い全体の残業時間削減に取り組む。そして、いかに全体の労働時間を減らすかを企業全体で時間をかけて考えていくとの声があった。																																								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加企業のアンケートを見ると満足度は高く、また受講者は多かった。これは働き方改革など最近の労務関係は毎年変わっている中で問題点、変更点を講師がわかりやすく説明できたからだと思われる。しかし、3時間/回×3日の9時間で行ったが内容が濃密であったが時間が足りないと感じた受講者もいたので、次年度は内容をさらに絞るか、時間の延長を行うかを検討したい。																																							

摂津市商工会

事業名		人材掘り起し採用セミナー ～新しい採用の視点を得ることができます。～																																							
想定する実施期間		30 年度～ 30 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小零細企業の従業員の採用活動においては応募者が少ないので、まったく新しい視点で、採用活動を考える必要がある。そこで、今まであまり募集の対象としていなかった女性、高齢者、障がい者、外国人を活用する方法を理解することを目的とする。(具体的には、採用活動について、活用できる助成金について、雇った場合のメリット及びデメリットなど制度や事例を知ってもらうことを目的とする。)																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	中小零細企業の事業主、人事担当者他																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：平成30年11月27日(火)                  場所：摂津市商工会                  講師：烏野 茂孝氏(社会保険労務士)                  内容：テーマ「人材掘り起し採用セミナー ～新しい採用の視点を得ることができます。～」このセミナーは、①そもそも採用とは・・・②女性の採用について③高齢者の採用について④障がい者の採用について⑤外国人の採用について の内容で開催。セミナー後、個別相談会を実施。参加社数：6社 個別相談：2件</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">(a) 府施策連携 労働関係13、雇用・労働啓発セミナー事業</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">(b) 広域連携「茨木商工会議所」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は摂津市商工会で行なう。案内等は、茨木と摂津で協力してPRを行なう。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">カルテ化 2件</td> </tr> </table>								①府施策連携	(a) 府施策連携 労働関係13、雇用・労働啓発セミナー事業							②広域連携	(b) 広域連携「茨木商工会議所」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は摂津市商工会で行なう。案内等は、茨木と摂津で協力してPRを行なう。							③市町村連携								④相談相乗	カルテ化 2件						
	①府施策連携	(a) 府施策連携 労働関係13、雇用・労働啓発セミナー事業																																							
	②広域連携	(b) 広域連携「茨木商工会議所」と「摂津市商工会」で連携をとる。講師については、摂津で選定する。会場は摂津市商工会で行なう。案内等は、茨木と摂津で協力してPRを行なう。																																							
③市町村連携																																									
④相談相乗	カルテ化 2件																																								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	6	支援実績率	24.0%	満足度	75																																	
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	このセミナーを受けることにより、女性、高齢者、障がい者、外国人の採用や採用した場合の事例をを理解できるようになる。その結果、新しい人材を獲得することにより、会社の負担が少なく従業員を育成することができ、業績UPにつながります。																																							
		指標	人材活用の理解度																																						
		数値目標	70	実績数値	87.5	目標達成度	125.0%																																		
事業の実績/目標達成度	成果の代表事例	セミナーを通じて、採用に書類選考を取り入れ、面接の仕方も取り入れることを考えている事業所や面接のテクニックを取り入れるという事業所があった。																																							
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	#DIV/0!																																		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナーの開催にあたり、中小事業主等に新しい視点を得ることを目的としたため、内容が対象者が絞りこめず、数があまり伸びなかった。次期以降は、より対象を特化したセミナーを開催する。																																							